
カエル！ジャパン通信 Vol.204 令和5年2月27日

発行：内閣府 仕事と生活の調和推進室

<<<今号の目次>>>

1. 取組紹介 誰もが生き活きと働くことのできる組織風土を醸成するために
日本たばこ産業株式会社

2. 最新情報

《お知らせ》 1件

《地方公共団体等の動き》 9件

■□■ 1. 取組紹介 ■□■

誰もが生き活きと働くことのできる組織風土を醸成するために

会社名 日本たばこ産業株式会社

事業内容 たばこ販売、食料品製造

本社所在地 東京都港区

社員数 7,154名（男性5,912名、女性1,242名）令和3年12月末時点

ワーク・ライフ・バランスにおいて、社員を継続的にサポートできる体制であることはもちろん、目まぐるしく変化する社会に対応した制度を迅速に整備することもとても重要です。今回は、日本たばこ産業（JT）の取組について広報部に伺いました。

◆一人ひとりの成長意欲をサポートする

当社グループの持続的な利益成長を果たすためには、社員一人ひとりの成長とその能力の発揮が不可欠であると認識しています。社員の成長にあたっては、社員自らが成長したいという渴望感を持ち、会社がそれを支援することが必要であり、しっかりとした動機づけを行うことを重視しています。そのため、社員のキャリア意識の醸成、およびキャリア形成のサポートを積極的に実施しているところです。それだけでなく、社員の能力の発揮にあたり、各人の生活とのバランスも非常に重要であると考えています。

当社は平成27年より、社員一人ひとりの「仕事と個々人の生活の調和（ワークライフバランス）」が尊重され、誰もが生き活きと働くことのできる組織風土を醸成し、組織のパフォーマンスの最大化を図ることを目的として「働き方改革」を推進しています。

◆迅速に制度を導入・見直す

新型コロナウイルス流行前の平成29年3月より「柔軟な働き方の選択肢拡大に向けた制度」として、社員本人の仕事の状況や希望等を踏まえ、早朝の勤務を柔軟に設定できる「朝方弾力勤務」や、「フレックスタイム制」、「テレワーク制」を導入してきました。加えて、更なる柔軟な働き方の実現に向け、令和2年4月に「コア無しフレックス」や「テレワークの利用回数制限の撤廃」の試行を開始し、5か月後の同年10月には、正式な制度導入を実現しました。

このほか、平成30年1月には、多様化推進の一環として、会社が認定した同性パートナーについては配偶者と同等に各種社内制度を適用する「社内パートナーシップ認定」をいち早く導入する等、必要に応じて新しい制度の試行・導入、既存制度の見直しを迅速に行い、社員の働きやすい職場整備に日々取り組んでいます。

このような迅速な対応を可能としているのは当社グループの経営理念であると認識しています。経営理念である「4Sモデル」の追求は、「お客様を中心として、株主、従業員、社会の4者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4者の満足度を高めていく」という考え方です。私たちは、「4Sモデル」を追求していくことが、企業価値の継続的な向上につながり、4者のステークホルダーにとって共通利益となるベストなアプローチであると確信しており、中長期にわたる持続的な利益成長の実現を目指しています。従業員が、JTグループで働くことを誇りに思えるよう、より魅力的かつ高く評価される企業であり続けるために、従業員への公平性・透明性のある評価や一人ひとりの成長支援に取り組むとともに、多様な価値観を尊重し活かす企業文化を追求しています。

◆イノベーションの創出をはかるために

このほか、本社では、席を固定せずに業務内容によって最適な場所を社員自らが主体的に選択できるABW（Activity Based Working）を令和2年10月より導入。自らの仕事内容に応じて働く場所を自由に選択する仕組み・設備があり、スピーディかつクリエイティブに業務を進めることが可能な、バランスの取れた職場環境だと考えています。

◆育児関連の支援

さらに、育児支援について、保育所や介護施設等を利用する際の費用補助や、子が1歳未満で育児休職から早期復職した社員に特別休暇を付与したり、子の急病にも対応できるよう中抜けを許容するなどの制度も拡充しています。

令和3年度には、配偶者が出産した社員（男性258人）の育休取得について、連続1週間～1か月未満が224人、連続1か月以上が42人という実績に繋がっています。連続1か月以上の取得者については前年度から281%増加しています。

◆社員の声

○コーポレート 男性 妻産休暇・保育料補助制度を利用

出産育児に伴う休暇制度だけでなく、保育料の補助に加え、日頃の勤務に関するテレワークの利用回数制限の撤廃や、中抜けの許容など、子供を養育していくこと自体を支援するような全体的な設計が非常にありがたいと考えています。

※妻産休暇：社員の配偶者が出産するとき、出産前日を起算日として3ヶ月以内に、5日以内の休暇（分割可）を取得することができる休暇で、育児・介護休業法に基づく育児休業とは別に制度を設けているもの

○営業 女性 フレックスタイム制を利用

産休・育休などの制度が単に充実しているだけでなく、同僚や上司をはじめ、会社として育児や介護などに対する理解がある風土があることがとても安心して制度を利用できると考えています。

今後も社員のモチベーションの向上や、会社・組織のパフォーマンスの向上に向け、更なる推進を検討していく所存です。

■□■ 2. 最新情報 ■□■

《お知らせ》

●「母性健康管理研修会」をオンデマンド配信中（視聴無料）

厚生労働省では、事業主、人事労務担当者などの方々を対象に、男女雇用機会均等法に基づく母性健康管理や労働基準法に基づく母性保護が適切に実施されるようにするため、「母性健康管理研修会」のオンデマンド配信を行っています。

本研修会では、母性健康管理措置の実施に当たっての留意点等について専門家が説明するほか、事例研究や、厚生労働省から最新の動向もお伝えしています。

皆さま、「母性健康管理研修会」をぜひご視聴ください。

【視聴・お問合せはこちら】

妊娠・出産をサポートする 女性にやさしい職場づくりナビ

<https://www.bosei-navi.mhlw.go.jp>

《地方公共団体等の動き》

（各事業の詳細はそれぞれの地方公共団体にお問い合わせください。）

【宮城県】 仙台市

ゆる〜りしごと準備講座「わたしのライフプラン」

「人付き合いが苦手」「仕事が長続きしない」そんな悩みを持つ女性たちのための講座です。お金の基本的なやりくりを学び、自分らしく生きていくためのライフプランを描きます。

日時：令和5年3月4日（土）13：30～15：30

会場：エル・ソーラ仙台 大研修室（アエル28階）

対象：生きづらさや働きづらさを感じている15歳から49歳の独身女性

定員：30名

費用：500円

申込方法：申込フォーム、電話又はFAX

<https://www.sendai-l.jp/event/11100.html>

【宮城県】 仙台市

“気持ちを伝える”ミニ講座「女性のためのコミュニケーション」

「自分の気持ちが言えなくてモヤモヤする」「相手に合わせてばかりで疲れてしまう」コミュニケーションが苦手だと思いませんか？自分の気持ちの伝え方や、人間関係で傷ついたときの対処法などを紹介します。

日時：令和5年3月10日（金）10：30～11：30

会場：エル・ソーラ仙台

対象：コミュニケーションに悩む女性

定員：12名

費用：無料

申込方法：電話 ※先着順・定員になり次第申込受付終了

<https://www.sendai-l.jp/event/11187.html>

【千葉県】

令和4年度 千葉県医師会との連携講座「健康長寿のために」YouTubeによる一般公開
長生きするなら健康で健やかに過ごしたいものです。千葉県医師会の先生に日頃起こりうる病気や予防などについてお話を聞きました。おすすめの講演は……全部です！たくさん
の御視聴をお待ちしています。※日本語字幕付きです。

日時：令和5年3月17日（金）まで

場所：YouTube「千葉県男女共同参画センター公式チャンネル」（視聴無料）

費用：無料 ※視聴にかかる通信費につきましては、御負担をお願いします

視聴方法：Web 又はチラシに記載されている二次元コードより

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyousei/event/2022/isikai2022.html>

【東京都】世田谷区

50歳からの私・仕事・生き方 ～人生100年時代 10年後の私・何してる？～

「ずっと働いていなかったけれど、また働きたい」「もっと自分らしさを生かしたやりがいのある仕事がしたい」「人生後半に向けて、もう少し収入があると安心」自分が納得できる「これから」の生き方と働き方について考えてみませんか。就労支援サービスについての資料や情報提供、個別相談会あり。講座後の様々な選択をサポートします。

日時：第1回 令和5年3月4日（土）

第2回 令和5年3月11日（土）

第3回 令和5年3月25日（土）※第3回は自由参加

いずれも 14：00～16：00

場所：世田谷区立男女共同参画センターらぷらす

対象：50歳からの生き方を考える女性（第1回と第2回に連続参加できる方）

定員：30名 ※事前予約制

費用：無料

申込方法：電話、FAX 又はメール

<http://www.laplace-setagaya.net/event/660/>

【富山県】富山市

第2回わくわく人生セミナー 70年代のヒット曲の意外な一面を読み解きます

1970年代を中心に「なつかしの歌謡曲」をジェンダーの視点から曲に隠された意外な一面を読み解きます。

日時：令和5年3月4日（土）13：30～15：00

会場：富山県民共生センター「サンフォルテ」

定員：男女30名程度 ※定員に達し次第、申込受付終了

費用：無料

申込方法：Web、FAX 又は往復はがき

<https://www.sunforte.or.jp/event/svEveDtl.aspx?servno=1197>

【静岡県】

新時代に向けて 女性の力が社会を変える

3月8日の国際女性デーと女性会館の開館30周年を記念して、法政大学前総長である田中優子さんの講演会を開催します。ジェンダー平等の実現を目指し、社会を変えていくために私たちにできることを考えます。

日時：令和5年3月5日（日）13：30～15：30

場所：アイセル211階 ホール

対象：どなたでも

参加費：無料

定員：150名 ※申込順

申込方法：電話又はWeb

<https://www.azarea-navi.jp/event/20230305aic/>

【大阪府】

女性の居場所づくり応援！ブックサロン～ときどきシネマ～

“ブックサロン ときどきシネマ”は、本や映画を通してつながる交流の場です。本を持ちよって紹介する“本の日”と、映画作品を鑑賞する“映画の日”があります。3月のブックサロンは、“映画の日”として『ニーゼと光のアトリエ』を上映します。初めての方もお気軽に御参加ください♪

日時：令和5年3月4日（土）14：00～16：00

上映作品：『ニーゼと光のアトリエ』（ホベルト・ベリネール監督/2015年/109分/R15+）

対象：本や映画に関心のある女性

定員：15～20名 ※申込先着順

参加費：無料

申込方法：窓口又は電話

申込締切：令和5年3月3日（金）

<https://www.dawncenter.jp/topics/detail.php?id=40>

【福岡県】

みらいねっとフォーラム 2023 「ノルウェーの女たちは政治を舞台に社会を変えた」

令和5年3月5日（日）に、みらいねっとフォーラム 2023 を開催します。第1部では、女性政策研究家の三井マリ子さんをお招きして、「ノルウェーの女たちは政治を舞台に社会を変えた」と題してお話しいただきます。第2部では、みらいねっと所属団体の活動報告として、地域の活力と魅力を生み出す男女共同参画の取組を紹介します。

日時：令和5年3月5日（日）

13：30～15：10 第1部「基調講演」

15：15～16：00 第2部「活動報告」

場所：クローバーホール クローバープラザ1階

定員：200名 ※定員に達し次第、申込受付終了

参加費：無料

申込方法：申込フォーム又はFAX

<https://www.asubaru.or.jp/149185.html>

【熊本県】 熊本市

市民グループ企画募集

熊本市男女共同参画センター「はあもにい」では、誰もが生きやすい社会の実現：男女共同参画の推進に関する市民グループの企画を募集します。講演会、学習会、ワークショップ、寸劇など形式は自由。決定した企画は、当館会場費の減免、広報協力や事業費の一部補助（上限3万円）などの支援を行います。様々な視点で考える、皆さんの男女共同参画推進の柔軟なアイデア企画をお待ちしています。

採用数：3企画まで ※書類・面接による選考あり

条件：男女共同参画の推進につながる企画で、令和5年5月～令和6年3月までに実施可能な企画であること

申込方法：実施要項を必ず一読の上、専用の申請書を直接持参、郵送又はメールにて申込

申込締切：令和5年3月10日（金）必着

https://harmony-mimoza.org/kouza_seminar/2023/03/post-176.html

【編集後記】

コロナは、私たちの生活習慣だけでなく、働き方についても大きな影響を与え、ウィズコロナ、ポストコロナにおける「新しい働き方」を考える企業や団体が、急速に増えてきたように思います。職場での密状態や、外出を避けるためにスタートしたテレワークでしたが、場所の柔軟性だけでなく時間の効率性を実感したことにより、仕事の生産性を向上させる働き方として捉えられるようになりました。また、さらに時間を有意義に使うという観点で、週休3日制を取り入れる企業も出てきました。

時間を効率的に使うことで、リスクリングや副業に従事する時間を作ることも可能になります。働きやすさが、それぞれが持つ能力をさらに伸ばし、それを十分に発揮してもらうことにつながることを意識しつつ、定期的に社内の制度の見直しを行うとよいかもしれません。

本メールは送信専用メールアドレスから配信されております。

このまま御返信いただいてもお答えできませんので御了承ください。

配信中止はこちらから

<https://nmg.cao.go.jp/cao007/unsubscribe.php>

配信先変更は上記により配信中止の後、こちらから新しいアドレスで登録

<https://nmg.cao.go.jp/cao007/subscribe.php>

バックナンバーはこちらから

<http://www.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへの御意見・御要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

内閣府「仕事と生活の調和」推進サイトはこちらから

<http://www.cao.go.jp/wlb/index.html>